



平成 19 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 健司
(コード番号：6269)
問合せ先 経営企画室長 高野 育浩
電話番号 03-6203-0200 (代表)

特別損失の発生及び有価証券の売却と
これらに伴う業績予想の修正に関するお知らせ

当社は 2007 年 12 月期の決算において、連結子会社である MODEC Production (Langsa) Pte Ltd. (MPL 社) による投資につき、下記のとおり償却する方針を決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

当社グループが権益を保有する唯一のプロジェクトであるインドネシアの Langsa 油田では、日量 1 千～2 千バレルの安定した原油生産が続いております。しかしながら、当初予定していた新規油井の開発が進んでおらず、今後の原油生産拡大に対する見通しが不確実な状況となっていることから、当社グループは MPL 社が持分に応じて負担した同鉱区での原油生産事業に対する投資を平成 19 年 12 月期に償却する方針といたしました。この処理に伴って発生する連結決算上の特別損失は約 25 億円となる見込みです。

なお、MPL 社に対する貸倒引当金を計上することにより、当社の単独決算上の特別損失額は約 22 億円となる見込みです。

当社は業績が順調に拡大している浮体式海洋石油・ガス生産設備事業に注力し、引き続きこの分野における世界的なリーディングカンパニーとして事業の拡大に努めてまいります。

2. 有価証券の売却について

当社は上記の特別損失に充当するため、保有している有価証券の一部を売却する方針です。有価証券の売却による特別利益は連結・単体共約 7 億円を見込んでおります。

3. 平成 19 年 12 月期業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

上記の処理を実施することに伴い、平成 19 年 2 月 14 日に開示した通期業績予想を次のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	110,000	—	6,400	4,200	112 ^円 28 ^銭
今回発表予想 (B)	130,000	—	6,800	3,800	101 ^円 58 ^銭
増減額 (B - A)	20,000	—	400	△400	—
増減率 (%)	18.2	—	6.3	△9.5	—
(ご参考) 前年実績	99,149	3,494	4,664	3,305	88 ^円 37 ^銭

(2) 単体業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	33,000	—	2,500	1,400	37 ^円 43 ^銭
今回発表予想 (B)	50,000	—	3,900	1,200	32 ^円 08 ^銭
増減額 (B - A)	17,000	—	1,400	△200	—
増減率 (%)	51.5	—	56.0	△14.3	—
(ご参考) 前年実績	28,924	2,758	3,373	2,255	60 ^円 31 ^銭

(注) 当社グループは海外での事業を中心としており、資金の決済は大半が外貨建てで行われております。決算上は、外貨建ての資産・負債や収益・費用を円貨に換算する際に営業外損益との入繰りが発生するため、営業利益の予想が難しい状況にあります。従って、現時点では営業利益の予想を開示しておりませんが、期末の円貨換算レートが確定する平成20年1月を目処に予想営業利益の開示を行う予定であります。

以 上